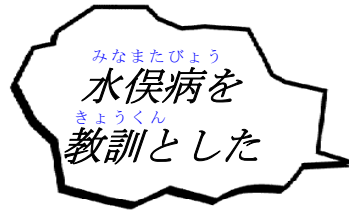


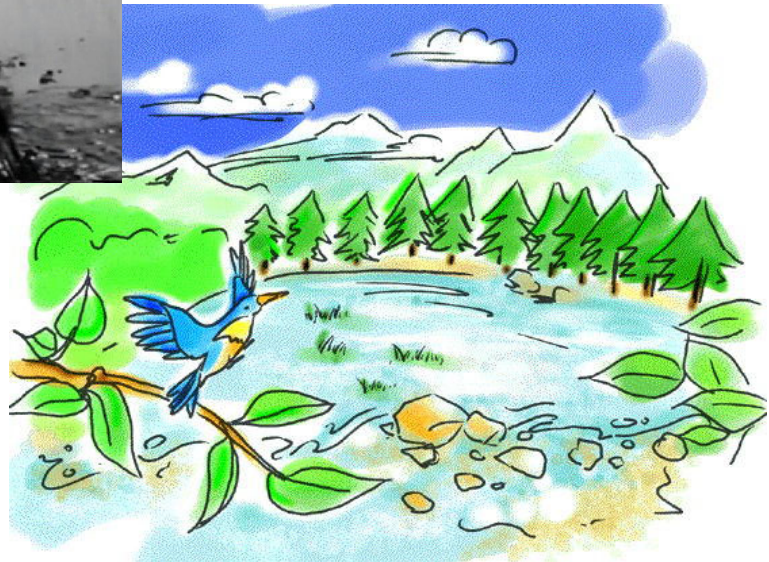
やってみよう！身近な環境づくり



かんきょう
水俣市の環境モデル都市づくりから



はいすい おせん
【工場廃水による海の汚染】



みなさんは、みなまたびょう 水俣病について学び、どんなことを感じたでしょうか…？

尊い多くの命が失われ、今もなお苦しむかんじゃ 患者さんたちがいます。埋め立てられた海は元に戻すことはできません。水俣病は何十年も前に起きた公害ですが、今を生きるわたしたちに、たくさんの教訓を残してくれました。

確かに、わたしたちの暮らしは便利で豊かになりましたが、その反対にいろいろな害のあるものに囲まれて暮らしています。地球規模の環境問題が問われていますが、まず、わたしたちにできることは、身近な環境を守ることです。

水俣市では、二度と水俣病のような悲惨な公害を起こしたくないという気持ちから、水俣市民が学校や家庭で、それぞれに環境にやさしい取り組みをしています。

そんな一人ひとりの取り組みが地域から広がり、ひいては地球の環境を守ることに繋がると信じて…。

水俣市の環境モデル都市づくりは、環境ISOの考え方から！

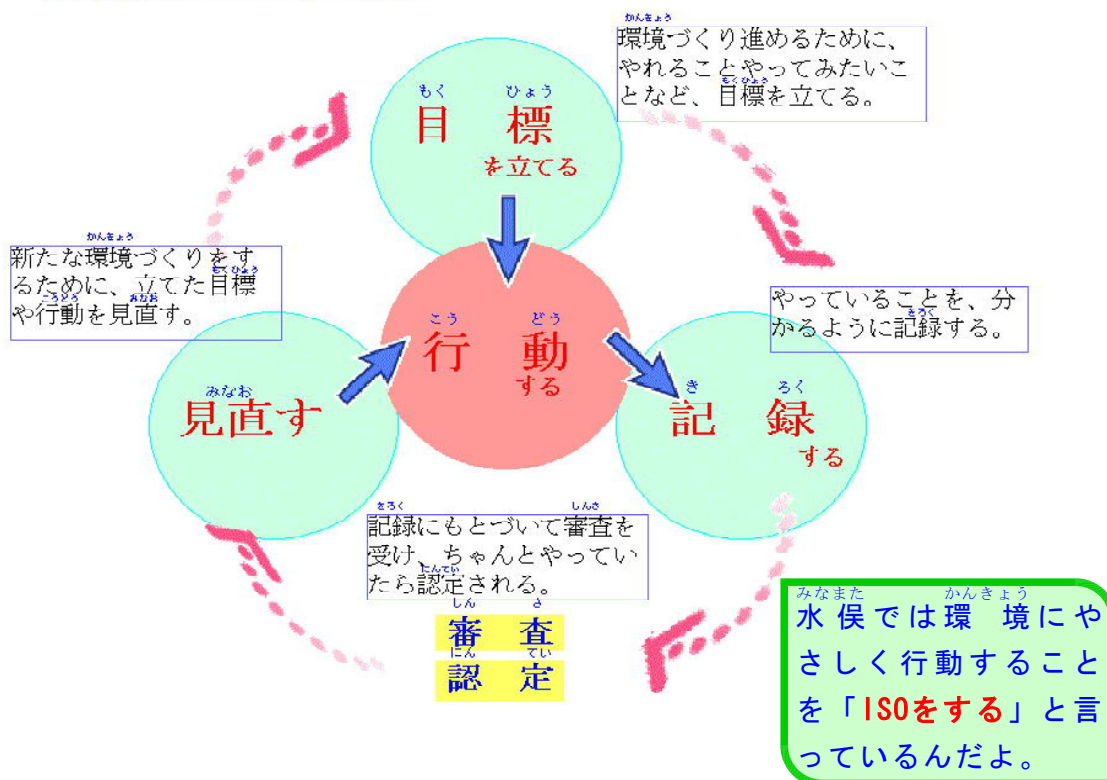
水俣市の環境モデル都市づくりでは、下の図のような環境ISOの考え方が多く取り入れられています。

環境ISOは、身近な環境づくりを長続きさせるための方法（システム）だからです。



そうか！
せっかく計画を立てても、
それをやらないと意味が
ないからね。

環境ISOの考え方



環境ISOは、その人のやる気や能力などに応じて目標を立てることが出来ます。また、行動したことを記録し、それを学校の先生や役所の人など誰かに審査してもらい、やったことを認めてもらうことで、責任感と次への新たな環境行動が生まれます。

国際規格であるISO14001を経費もかけることなく簡単に市民にもしてもらえるように、水俣で考えられ始まったこの市民向けの環境ISOは、市内の小中学校はもとより、幼稚園や保育園、お店や旅館・ホテル、家庭などでも行われています。

学校でやってみよう！

ばんかんきょう
学校版環境ISOから

① 目標を立てよう

環境づくりを進めるため、下の「やれるかなシート」に、やれること、やってみたいことなどを、○、×で記入し、目標を立てます。

やれるかなシート		
1	余った紙はメモ紙に使うなど、紙を大切に使います。	○
2	再生紙で作ったノートなどを使っています。	○
3	出たごみは分別し、リサイクルします。	○
4	給食は残さないように食べます。	○
5	どうしても余った給食の食べ残しは、たい肥にします。	×
6	歯みがきのときなど、水を出しっぱなしにしません。	○
7	掃除のときも水を大切に使います。	○
8	照明や使わない電気のスイッチはこまめに切ります。	○
9	机や棚、かばんなど、自分のものはきちんと整理します。	○
10	ごみが落ちていたら拾うなど、学校をきれいにします。	○
11	お家でも環境にやさしいことをします。 (お家でのISOカードを使って)	
	・ ・ ・	



かんきょう
【環境ISO行動目標】

② 行動しよう

①で立てた目標がちゃんとできるようにがんばります！



【学校で出るごみをきちんと分別】



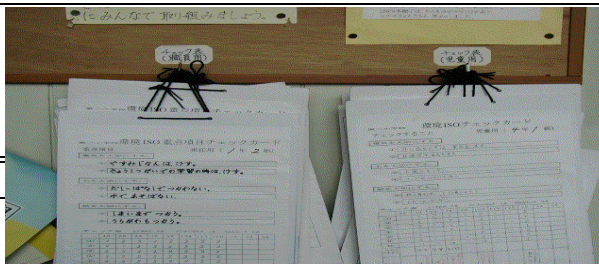
【給食の食べ残しを肥料に】

③ 記録しよう

やっていることを分かるように「できたかなカード」に記録します。

※できた=3点、まあできた=2点、あまりできなかった=1点

【1月】		?	?	?	計
できたかなカード		10	20	31	
名前 環境博士		日	日	日	
1	余った紙はメモ紙に使うなど、紙を大切に使いました。	3	2	3	8
2	再生紙で作ったノートなどを使いました。	3	3	3	9
3	出たごみは分別し、リサイクルしました。	2	2	3	7
4	給食は残さないように食べました。	1	2	1	4
5	どうしても余った給食の食べ残しは、たい肥にしました。	3	3	3	9
6	歯みがきのときなど、水を出しっぱなしにしませんでした。	2	2	1	5
7	掃除のときも水を大切に使いました。	2	3	1	6
8	照明や使わない電気のスイッチはこまめに切りました。	3	3	3	9
9	机や棚、かばんなど自分のものはきちんと整理しました。	2	1	2	5
10	ごみが落ちていたら拾うなど、学校をきれいにしました。	2	2	1	5
11	お家でも環境にやさしいことをしました。 (お家でのISOカードを使って)	2	3	3	8
合計					



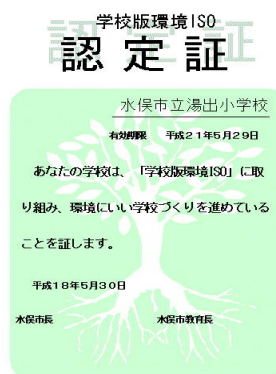
【目標どおりやれたのかを記録】

④ 審査を受けます



【水俣では、年に1回市役所の人が来て審査をしています】

⑤ 認定されます



⑥ 見直しをしよう

認定された後は、それに満足しないで、記録を見てあまりやれなかったところを改善したり、審査で指摘を受けたことをもとにして、さらに上のステップを目指すための「見直し」を1年に1回は行います。

目標や、どう行動したらよりうまい環境づくりができるか、また、記録のとり方についても、もれがなく、簡単に記録ができたのかを見直すと、さらにいい学校版環境ISOができあがります。

お家でもやってみよう！

お家の人と
いっしょに

お家の人といっしょに、
ちゃんとやれたかをカード
につけてみましょう！

※できた＝3点、まあできた＝2点、あまりできなかった＝1点

【1月】		〃	〃	〃	計
お家でのISOカード		10	20	31	
名前 環境博士		日	日	日	
■ごみを減らす					
マイバッグを持って買い物に行きました。		1	1	1	3
使い捨ての皿、紙コップなどは使いませんでした。		1	2	3	6
裏が白いチラシやカレンダーなどは、メモ用紙に使いました。		1	2	3	6
■ごみのリサイクル					
食品トレイは、洗ってリサイクルに出しました。		3	3	3	9
ペットボトルと空き缶も洗ってリサイクルに出しました。		3	3	3	9
紙などもなるべくリサイクルに出しました。		2	2	2	6
■省エネルギー					
長く使わない電気製品の主電源を切り、プラグもぬきました。		1	2	2	5
使っていない部屋のエアコンや照明は消しました。		2	2	2	6
冷蔵庫は物をつめすぎないようにしました。		2	1	3	6
冷蔵庫のドアの開けしめは短くしました。		3	3	3	9
掃除機は部屋をきちんと片付けたあと、短時間でかけました。		1	2	3	6
お風呂のフタはこまめに閉めました。		3	3	3	9
お風呂が沸いたら、家族が時間をおかずに続けて入りました。		1	1	1	3
自動車のトランクに荷物を積みっぱなしにしませんでした。		1	3	3	7
自動車はなるべく使わず、歩いたり、自転車を使いました。		1	1	1	3
人を待つときなど、自動車のエンジンを切りました。		3	3	3	9
■省資源					
歯みがきをするときなどは、こまめに水を止めました。		3	3	3	9
食器を洗うときは、水を出しっぱなしにしませんでした。		2	3	3	8
洗濯はまとめ洗いしました。		2	3	3	8
エコマークついた商品をすすんで買いました。		1	1	1	3
シャンプーや洗剤などは、つめかえ用を買いました。		1	2	3	6
合 計		38	46	52	136

月に130点以上
をめざそう！

例

学校の行き帰りや遊びに行った場所でもやってみよう！

学校の行き帰りに、心ない大人が捨てたタバコの吸殻や、紙くず、空き缶などが道に捨てられているのをよく見かけます。わたしたち子どもも学校やお家でいい環境をつくろうとがんばっているのに、一部の心ない大人の人美しい環境を汚してしまうことは、大変残念なことです。



そんなときは、…



■お家の人に「ゴミが落ちていたこと」を教えてあげましょう。

■学校の先生にも「ゴミが落ちていたこと」を教えてあげましょう。



…通学路だけでなく、大人の人やみんなが利用する道だから、そこをきれいにするためにはどうしたらいいか、みんなで考えないとね。

水俣市では環境モニターという人が各地区にいて、川の水が汚れていたり、ゴミが捨てられていたり、木が枯れかかっていたり、うるさい音や変な臭い、空気の汚れなど、環境に変化があったら、すぐに市役所に報告してくれるようになっていきます。みなさんも環境の変化に気づいたら、すぐに大人の人に教えて、対応してもらおうようにしましょう。

また、休みの日などに、お家の人に連れて行ってもらった遊園地のゴミ箱があふれかえってること、公園の芝生やベンチに置き去りにされた弁当箱やペットボトルなどを見かけたことはありませんか…。



そんなときは、…



■ゴミとなるものを持っていかないこと。

■どうしても出たゴミはお家に持ち帰ること。



…など、一人ひとりがきれいな環境を大切にすることが大切だね。

水俣市ではお母さんたちの集まりで、ごみ減量女性連絡会議というのがある。買い物に行くときにはマイバッグを持って行ったり、エコショップに認定されているスーパーなどのお店では、食品トレイをなるべく使わないで物を売っています。

環境を汚さないためには、ゴミをなるべく出さないこと、また出たゴミはリサイクルし、それ以外のゴミも一人ひとりが責任を持って処理することが大切です。

地域の自然を通じて学んでみよう！

09:00 集合

A班

『森と水』～上流部から～
水俣市は豊かな水資源に恵まれた素晴らしい自然環境を誇っています。水俣の水がどのようにしていくかは、森から始まっています。A班では、水俣の水と暮らし、その水俣を守るための森づくりについて学びます。

09:30 アドベンチャーウォークラリー
欄田と周辺の自然観察を行いながら、クイズと指針をクリアしてゴール(水俣川)をめざします。

11:00 森と水俣の話
欄田、水俣、森づくりについてのお話

12:00 昼食
そうめん流し、欄田米おにぎりなど
食後は川遊び

13:00 森の中のネイチャーゲーム
ネイチャーゲームを楽しみながら、人と自然とのつながりについて学びます。

B班

『川の生き物、暮らしと水』～中流部から～
山と森を離れ、人々の暮らしと川の暮らしとを、自然の恵みを受けながら暮らしてきました。B班では、川の水と暮らしのつながりについて学びます。

09:30 川の水生生物の生態系調査
川にいる小さな生き物を観察しながら、水のきれいを調べ、人々の暮らしと川がどのように関わっているかを学びます。

12:00 昼食
環境マイスターパーベキュー
食後は川遊び

環境マイスターのお話
環境にこだわってものづくりをしている環境マイスターから、生活から環境づくりの自然環境を守るための取り組みなど、暮らしの中で環境を守る大切さを学びます。

C班

『生活の中で実化する水』～下流部から～
川の水は、生活の中でどのように使われていますか。水俣の水は、生活の中でどのように使われていますか。C班では、生活の中で水がどのように使われているか、汚染された水をきれいにし、環境を守る大切さを学びます。

09:15 フィールドワーク「川の観察」
上水の浄水場から下水の最終処理場まで、市内の生活排水を採取し、水道水が日常生活の中でどのように使われているのかを学びます。

11:00 下水の話と水質調査
生活の中で汚れた水をどのようにきれいにしているのかを学びます。また、フィールドワークで採取した水を分析し、水質について学びます。

12:10 昼食
環境マイスターパーベキュー
食後は川遊び

13:40 処理場施設見学
以前は「汚泥」であった汚泥も資源として考えることが、立派な肥料となることから、リサイクルの重要性を学びます。

14:30 せっけん工場見学
いろいろな種類の食用油からせっけんができる仕組みとせっけんが環境と健康にやさしいことを学びます。

D班

『水の汚染によって引き起こされたもの「水俣病」～海から～
水俣病は、水俣市から約100km離れた水俣湾で発生し、汚染された水が魚介類を通じて住民に摂取されたことから、水俣病が発生しました。D班では、水俣病の原因と被害について学びます。

09:20 水俣病発生地（エコパーク水俣）から
水俣病発生地から水俣湾までを散策し、汚染された水俣病の原因と被害について学びます。

10:00 公害防止事業とよみがえった海の物語
魚が外に出て来ないように仕切られていた水俣湾、水俣病で壊れた水俣湾の石像、美しい水俣湾がもたらした水俣湾の再生と、水俣病の被害を学びます。

11:20 水を大切にすビデオの上映
環境マイスターパーベキュー

12:10 昼食
環境マイスターパーベキュー

13:10 磯遊び
磯遊びの場で、潮たまりに取られなくなった生き物や磯遊びの場で暮らす生物の観察をしながら、汚染された海に生き物が増えてきたことを確認し、自然に生きていくことのすばらしさを学びます。

17:00 夕食
あしたの青少年の家

18:00 まとめ
翌日の事例発表に向けまとの

20:00 お宿え
ホームステイ先へ

フィールドワーク：水俣市内
こども国連環境会議 in Minamata

こども国連環境会議から

環境を学ぶフィールドは、みなさんが住んでいる地域にもたくさんあるはず。身近な環境を知り、それを未来へ大切に受け継いでいくことがひいては地球環境保全にも役立ちます。

水俣では2002年に『こども国連環境会議九州大会』を開催し、身近な水の環境を考える」をテーマに環境について学んでもらいました。

こどもたちは、川の上流、中流、下流、そして海に分かれて水の大切さを学ぶ「フィールドワーク」に参加し、下の宣言文をつくり、学んだことを確認しました。



【フィールドワーク：川の生物調査】

『地球の環境を守るこども宣言』

わたしたちは、環境を守りこれを次の世代へと引き継いでいくため、「こども国連環境会議九州大会」を環境モデル都市水俣で開催し、『身近な水の環境を考える』をテーマに3日間学びました。

地球規模の環境問題が問われている今、まず、わたしたちにできることは身近な環境を守ること、わたしたちの生活や自然の生態系に最も関係の深い水をきれいに循環させることが、大切なことだと学びました。

また、一度壊された環境を元に戻すには多くの年月と莫大なお金が必要になり、そこには多くの犠牲者の苦しみがあったことを水俣の経験から知ることができました。

このように学んだことをわたしたち一人ひとりが周りの環境に活かしていくことで、ひいては地球の環境を守ることに繋がると感じます。

これからわたしたちは、この会議で学んだ多くの貴重な経験をより多くの人たちに伝えるため、参加者一人ひとりがエコリーダーの一員として、努力することを宣言します。

一人ひとりの
小さな行いから、
地球環境を守ろう！

こども国連環境会議九州大会 in Minamata 2002



みなまたびょうしりょう 【水俣病資料館で語り部さんの話を聞き、環境の大切さを学ぶ子どもたち】

みなまたびょう

水俣病は公害の原点とされています。

みなまたびょう 水俣病が起きたことで、それまで豊かな海からの恵みにより平和な生活を送っていた人たちは、次々と病気になり、苦しみながら亡くなっていきました。生きていた人も、みなまたびょう 水俣病の痛みとたたかいつつながら日々の生活を送っています。

また発生当時、みなまたびょう 水俣病は伝染病・奇病とこわがられ、患者さんは差別を受けることもありました。さらに、伝染病や風土病と誤解され、就職や結婚がダメになるなど、みなまた 水俣の市民に対する差別もありました。

みなまたびょう 水俣病問題は新たな裁判が始まるなど、発生から50年が経とうとしている今も解決していません。苦痛と困難の歴史を生き抜いてきた水俣市民は、二度とこのような悲惨な公害が起きてはならないと環境モデル都市づくりを始めました。

この冊子は、さっし 水俣病を教訓として水俣市民が実践している環境モデル都市づくりを紹介しながら、誰にでもできる身近な環境づくりの輪を広げ、公害のない世界をみんなでつくっていきましょうというものです。みなまたびょうしりょう 水俣病資料館等で公害の悲惨さを学ぶだけでなく、その思いを持ち帰って環境実践活動を子どもたちにも取り組みさせたいという学校や団体が増えていますので、この冊子をぜひご活用ください。

なお、本冊子は、さっし 水俣病資料館のホームページ (<http://www7.ocn.ne.jp/~mimuseum/>) からでも無料でダウンロードできるようにしてありますので、水俣病資料館を研修旅行・環境学習旅行等でご来館される前の事前学習用教本としてもご活用ください。

2006年（平成18）3月

「やってみよう！身近な環境づくり」

～水俣市の環境モデル都市づくりから～

編集・発行 水俣市立 水俣病資料館